

テーマ No : 670823
承認番号 : RD6809-002-0
文書番号 : 20109874
2020 年 10 月 22 日

根太・東フローリング施工用接着剤
ネオストロング MS 試験成績書



技術開発センター

1. 目的

根太・束・フローリング施工用接着剤ネオストロング MS の接着性能に関する評価を行った。

2. 試験項目

2.1 引張接着強さ試験

2.2 押し倒し試験

3. 試験材料

3.1 引張接着強さ試験

下地材：ラワン合板(70×178mm, t=12mm)

被着材：緩衝材なしフローリング材(40×40mm)

3.2 押し倒し試験

下地材：普通平板 N300 (300×300mm, t=60mm, JIS A 5371)

被着材：鋼製束(100×90mm)、樹脂束(ϕ 100mm)

4. 試験方法

4.1 引張接着強さ試験

(1) 試験体作製

標準雰囲気下(23±2°C, 50±10%RH)において、JIS A 5536「床仕上げ材用接着剤」に準じて、下地材に所定のくし目ごて(幅×高さ×ピッチ：4.0×4.0×15.4mm, V ノッチ)を用いて接着剤を塗布し、直ちに被着材を張り付け 1kg のおもりを 5 秒間載せて圧縮し、試験体とした。

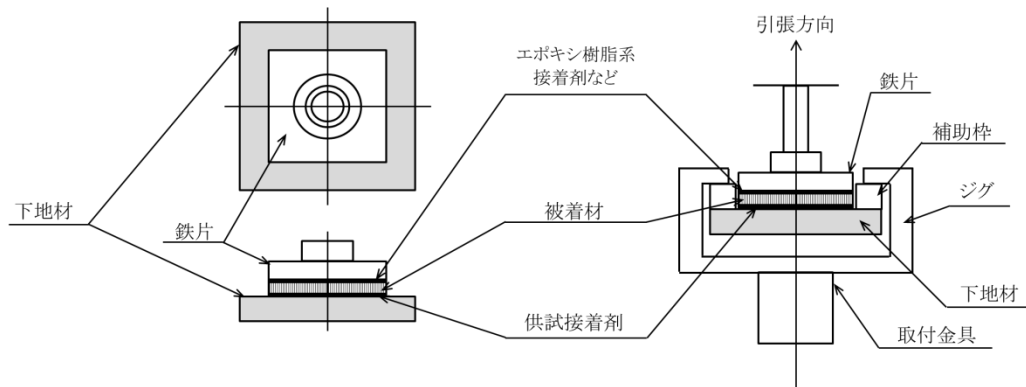
(2) 養生条件

常態：標準雰囲気下において 7 日間養生後測定。

耐熱：常態養生後、80°C±2°C 雰囲気下で 7 日間養生を行い、標準雰囲気下で 1 日静置後測定。

(3) 測定条件

テンシロン万能試験機 RTF-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行った。



4.2 押し倒し試験

(1) 試験体作製

標準雰囲気下で乾燥させた下地材を、#60のサンドペーパーでサイディング処理し、表面のほこりを取り除いた後、被着材を張り付けることで試験体とした。

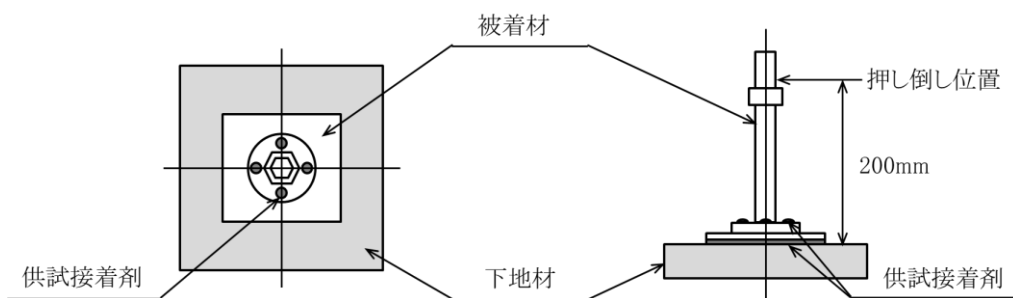
(2) 養生条件

標準雰囲気下において7日間養生後測定。

(3) 測定条件

押し倒し位置：下地表面から200mm

テンシロン万能試験機 RTF-2410 により、変位速度 10mm/min にて測定を行った。



5. 結果

5.1 引張接着強さ試験

表 1.引張接着強さ試験結果

	接着強さ (N/mm ²)	破壊状態 (%)
常態	0.7	AF4A10G86
耐熱	0.5	G100

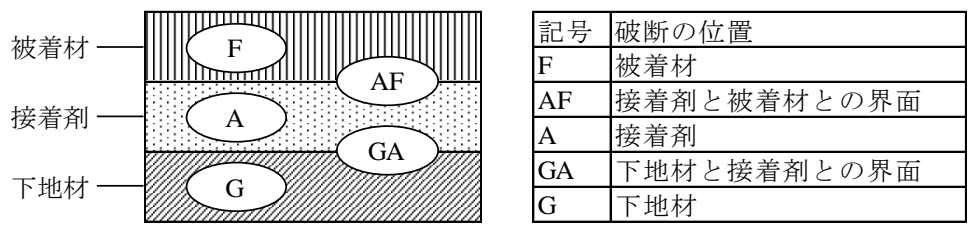


図 1.破壊状態(JIS A 5536 に準ずる)

表 2.引張接着強さ規格値(JIS A 5536)

養生条件	接着強さ
常態	1.0N/mm ² 以上
耐熱	1.0N/mm ² 以上

※接着強さは規格値未満の場合でも、最大面積を示す破断の位置が F または G であれば合格とする。

5.2 押し倒し試験

表 3.押し倒し試験結果

	接着強さ (N/本)	破壊状態 (%)
鋼製束	432.1	A100
樹脂束	222.8	A100

※破壊状態 A：破断の位置が接着剤

●本試験報告書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などをご自身で充分ご検討下さい。

作成：2020年10月22日 (文書番号：20109874)